

【別表4】企画提案内容及び審査の視点（採点基準表）

(1) 審査方法

- ・プレゼンテーションを通じて、下記項目に応じ、取り組み意欲、提案全般、支援方法、実施体制、地域資源の活用等を総合評価し、選定委員会における各委員の評価点を合計した結果、最高得点を得た事業者を優先交渉権者として決定する。
- ・配点は、1 評価項目あたり（16 事業費の積算額を除く）の最高点を5点とする。その内、下表「採点基準表」内の網掛け欄については、重要な評価項目として配点が2倍（10点）とする。
- ・2者以上同点の場合は、見積額の低い事業者を第1位として決定する。
- ・各委員の持ちら点（200点）を合算した値（配点）の6割を最低基準とし、各委員の評価点を合算した値が最低基準に満たない事業者は除外とする。

(2) 評価基準

さいたま市生活困窮者学習支援業務委託（進学応援教室） プロポーザル方式 評価項目及び配点（採点基準表）

評価項目	評価基準	配点	
1 取り組み意欲	(1) こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律及びこども大綱の趣旨を含め、子どもへの支援の重要性について理解が十分にできているか。	15	1・2・3・4・5
	(2) 対象者が生活困窮世帯の子どもということを十分に理解した上で、業務に対する取り組み意欲及び高い知識を有しているか。		1・2・3・4・5
	(3) 責任者が「貧困の連鎖」を防止する熱意とリーダーシップを有しているか。		1・2・3・4・5
2 提案全般	(1) 趣旨を理解し、要求水準記載の業務内容すべてについて、適切かつ有効な提案がなされているか。	15	1・2・3・4・5
	(2) 事業の目的にあった独自の業務内容の提案がなされているか。		1・2・3・4・5
	(3) 業務内容が実現可能な提案となっているか。		1・2・3・4・5
3 支援方法	(1) 支援対象の子どもに対して、学習支援教室への登録を促す魅力的なアイデアがあり、登録後は継続的な参加を促す方法について、効果的かつ具体的な提案がされているか。	70	1・2・3・4・5 × 2
	(2) 欠席者が増える休業期間の参加を促す取り組みについて、効果的かつ実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(3) 基礎学力の向上及び学習習慣の定着を図るための支援方法について、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(4) 個々の学力に応じた進学支援や受験対策の方針について、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(5) 面談及びアセスメントを通じた課題やニーズの把握方法について、効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(6) 個別支援計画の策定や進捗管理について、効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(7) 個々の理解度や課題に応じた教材や模試の活用について、効果的で具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(8) 各種講習会やガイダンス等、進学意欲を高める取り組みについて、効果的で具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(9) 進路選択や受験対策に役立つ、奨学金や各種支援施策等の情報提供をする取り組みについて、提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(10) 子どもからの学校や家庭で話せない不安や悩み等の相談対応について、提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(11) 保護者からの相談対応について、具体的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(12) 不測の事態等により教室への参加が困難となった際に、オンラインでの支援等、教室参加の代替となる支援方法について、具体的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5 × 2
4 実施体制	(1) 進学支援や受験対策に専門性を有する責任者及び支援員の選定及び安定した確保について、具体的で実現性のある提案がされているか。	70	1・2・3・4・5 × 2
	(2) 個々の学力やニーズに応じた支援員の配置について、効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(3) 責任者及び支援員に対する事業理解や質質向上を図る研修について、効果的で具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(4) 支援員に対する対人援助スキル向上を図る体制について、効果的で具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(5) 事業の効果測定について、学習成果の「見える化」や、指導方法の改善、生徒のモチベーション向上につながる効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5 × 2
	(6) 支援が必要な子どもを各種支援施策等につなぐ連携体制について、具体的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(7) 福祉事務所や関係機関等との連携体制について、具体的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(8) 学習支援事業の事業効果を高めろため、中高生対象教室の受託者との連携体制について、具体的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
	(9) 個人情報保護などの情報管理の手法や苦情に対する適切な対応等、適切な事務処理体制がとられているか。		1・2・3・4・5
	(10) 事件、事故及び災害等が発生した場合の対応及び連絡体制、トラブルを未然に防ぐ安全管理がなされているか。		1・2・3・4・5
	(11) 経営基盤及び組織運営が安定しており、本業務の適切な実施体制がとられているか。		1・2・3・4・5 × 2
5 実績	(1) 本市又は他の地方公共団体での同種又は類似業務における進学支援や受験対策の実績等について、十分な実績を有しているか。	20	1・2・3・4・5
	(2) 本市又は他の地方公共団体での同種又は類似業務における高校・大学等の合格実績について、十分な実績を有しているか。（直近3年間分）		1・2・3・4・5 × 2
	(3) 本市又は他の地方公共団体での同種又は類似業務における教室参加者の出席率について、十分な実績を有しているか。（直近3年間分）		1・2・3・4・5
6 事業費の積算額	(1) 以下の計算式により、配点する。計算後は小数第1位を四捨五入する。 (最も安価な見積額を提示した事業者の見積額／評価対象の事業者の見積額) × 配点10点	10	左欄参照
	合 計	200	